



2022年 11月11日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ピ ア ズ
 代 表 者 名 代表取締役社長 桑野 隆司
 (コード番号：7066 東証グロース)
 問 合 せ 先 取締役管理本部長 栗田 智代
 (TEL. 03-6811-2211)

通期業績予想と実績値との差異および特別利益、特別損失の計上
 ならびに剰余金の配当に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2022年5月13日に公表した2022年9月期通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたこと、および特別損失の計上について、下記のとおりお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、下記のとおり2022年9月30日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議いたしましたのでお知らせいたします。なお、本件は2022年12月23日開催予定の第21期定時株主総会に付議する予定です。

記

1. 通期業績予想と実績値との差異

2022年9月期通期連結業績予想値の修正 (2021年10月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,490	40	63	37	7.97
実績値 (B)	3,793	76	84	67	14.56
増減額 (B - A)	303	36	21	30	
増減率 (%)	8.7	90.8	34.0	83.0	
(ご参考) 前期実績 (2021年9月期)	3,130	101	137	52	11.48

2022年9月期通期個別業績予想値の修正 (2021年10月1日～2022年9月30日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,486	139	83	17.89
実績値 (B)	2,688	249	48	10.51
増減額 (B - A)	202	110	△34	
増減率 (%)	8.2	79.5	△41.1	
(ご参考) 前期実績 (2021年9月期)	2,758	204	128	28.27

2. 差異の理由

売上高につきましては、2022年5月30日付「株式会社ウィルの株式の取得（子会社化）に関するお知らせ」および「株式会社マックスプロデュースの株式の取得（子会社化）に関するお知らせ」にて公表しましたとおり、2022年6月1日付で株式会社ウィルおよび株式会社マックスプロデュースを連結子会社化したこと等により303百万円増加しております。

営業利益につきましては、採用およびM&Aに関する手数料等の予算が未消化だったこと等から販管費が縮小したため31百万円増加しております。

経常利益につきましては、上記に加え、M&Aに伴う資金借入実行による支払利息が増加したことから、21百万円増加しております。

また、連結子会社（株式会社メタライブ）の吸収合併に伴う繰越欠損金の引継ぎ等により法人税等が減少したことに加え、固定資産の減損損失を計上したことから、前回発表より親会社株主に帰属する当期純利益が30百万円増加することとなりました。

3. 特別利益および特別損失の計上について

(1) 抱合せ株式消滅差益の計上

2022年9月26日付で当社100%出資の連結子会社であった株式会社メタライブを吸収合併いたしました。その際、吸収合併消滅会社である株式会社メタライブから受け入れた純資産と当社が保有していた同社株式の帳簿価額との差額である53百万円を「抱合せ株式消滅差益」として個別決算において計上いたしました。連結業績に与える影響はありません。

(2) 減損損失の計上

2022年9月期第4四半期において、当社の保有するソフトウェアについて、現在の事業環境及び今後の業績見通し等を勘案し、将来の収益を保守的に見積もり慎重に検討した結果、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理を行い、連結決算および個別決算において減損損失85百万円を特別損失に計上いたしました。

(3) 貸倒引当金繰入額の計上

当社の連結子会社に対する債権に関し、財政状況の悪化に伴い2022年9月期の個別決算において貸倒引当金繰入額134百万円を計上いたしました。なお、当該貸倒引当金繰入額は、連結決算においては相殺消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

4. 剰余金の配当

(1) 配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2021年11月12日公表)	前期実績 (2021年9月期)
基準日	2022年9月30日	同左	2021年9月30日
1株当たり配当金	2円72銭 (普通配当 2円72銭)	未定	4円29銭 (普通配当 4円29銭)
配当金総額	12,325千円	—	9,951千円
効力発生日	2022年12月26日	—	2021年12月27日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(注) 2021年10月14日付で普通株式1株を2株とする株式分割を行っております。前期実績については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

(2) 理由

当社グループは、財務体質の強化及び競争力の確保を経営の重要課題の一つとして位置づけてお

り、事業の効率化と事業拡大のための投資を積極的に行うことが重要だと認識しています。同時に、配当による株主への利益還元も重要な経営課題であると認識しており、各事業年度の経営成績を勘案しながら配当による株主への利益還元を行っていく方針であります。

当期の期末配当の予想につきましては、上記方針等を勘案し、前期と同程度の配当性向を維持した1株あたり2円72銭といたしました。

以 上